

# SRI LANKA 2024

## 第21回

# アジア太平洋小売業者大会

## コロンボ大会 参加のご案内

会期 2024年9月4日(水)～6日(金)

会場 バンダラナイケ記念国際会議場 (BMICH)

シャングリ・ラ・コロンボ (スリランカ)

テーマ アジア太平洋地域における小売業の再定義：トランザクションからトランスフォーメーションへ



The 21st  
**APRCE**  
SRI LANKA 2024  
Redefining Retail in APAC: From Transactions to Transformation



シャングリ・ラ・コロンボ  
(ウェルカムレセプション・ガラディナー)



コロンボ市



バンダラナイケ記念国際会議場 (BMICH)  
(大会会場・展示会場)



ハブロック・シティ・モール

## 日本小売業協会

Eat Well, Live Well.



AJINOMOTO.



**Deloitte.**  
デロイト トーマツ

**東芝テック**

協賛



# Deloitte.

デロイト トーマツ

可能性に満ちた変化の時代の中で、  
新しい価値観や技術と「多様な知」の掛け合わせが、  
進むべき未踏の道を指し示し、  
その変革がカタチになるまでともに駆け抜ける。

デロイト トーマツ コンサルティングは  
常に新しい行き先を問い続ける、  
人と、企業と、社会とともに。

日本から、より良い明日を創るために。

# Lead the way

明日への道をとともに拓く。

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社  
jp\_retail\_contact@tohmatu.co.jp  
www.deloitte.com/jp/dtc

© 2024. For information, contact Deloitte Tohmatsu Consulting LLC.



## 第21回 アジア太平洋小売業者大会の開催にあたって

日本小売業協会は、小売流通業の横断的団体として1978年に設立されて以来、人と情報の交流を目的として様々な活動を行い、海外の小売流通団体などとの交流活動も活発に行っております。

特にアジア地域では1983年に「第1回 アジア小売業者大会」が東京で開催されて以来、各国持ち回りで隔年に開催されており、今回21回を迎えることになりました。大会の名称も2007年の東京大会より参加国にオセアニアの国々も加え「アジア太平洋小売業者大会」に変更され、現在では18ヶ国・地域から参加者が集う世界有数の国際会議に発展してきております。

こうした歴史を経て、本年9月にはスリランカのコロomboにおいて「第21回 アジア太平洋小売業者大会」が、またこの2年後の2026年10月には、第22回大会が19年ぶりに東京で開催されることになりました。

今回のコロombo大会は、「アジア太平洋地域における小売業の再定義：トランザクションからトランスフォーメーションへ」をテーマに、日本を含むアジア太平洋地域の著名な企業経営者、流通小売業トップが一堂に会する大変貴重な機会となります。東京大会への流れを創り出す大会としても、大きな意義のある大会になることを期待しております。是非ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。



日本小売業協会 会長  
野本 弘文

## アジア太平洋小売業者大会がスリランカで開催

アジア太平洋小売業協会連合会（FAPRA）の会長として、皆様へ、来る2024年9月にスリランカで開催される第21回 アジア太平洋小売業者大会のご案内ができますことを大変光栄に思います。この大会は、小売業界におけるネットワーク作り、知識の充実、専門的な進歩のための特別な機会をお約束するものです。我々の主な目的は、業界の著名人が一堂に会し、専門知識を共有し、革新的な道を探ることができるプラットフォームを提供することです。

第21回大会は、小売業界のオピニオンリーダーと交流し、小売業界の最新トレンドを把握するためのユニークなフォーラムです。創造性、コラボレーション、モチベーションを育む会議にご期待ください。私たちの総力を結集することで、小売業界の有望な未来を形成し、成功への道を切り開くことができます。

スリランカで開催される第21回 アジア太平洋小売業者大会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。目の前にある展望を共有し、この豊かな経験から最大限の価値を引き出そうではありませんか。



FAPRA 会長  
インドネシア小売業協会 会長  
Roy N. Mandey

## アーユボーワン (Ayubowan)！ ようこそスリランカへ

9月4日から6日まで、スリランカのコロomboで開催されるAPRCE 2024へのご参加を歓迎します。

世界有数の観光地として知られるスリランカが、皆様のお越しを心よりお待ちしております。荘厳な美しさと比類なきホスピタリティで名高いスリランカは、他では味わえない体験をお約束します。活気あふれる首都コロomboは、東洋と西洋の豊かな文化が織り成すタペストリーのような街で、熱帯の気候を背景に、食の楽しみ、文化の宝庫、そして現代的な便利さを提供しています。

20億人近い人口を擁する南アジアの中心に戦略的に位置するスリランカは、新興市場の星となっています。新しいコロombo・ポートシティの金融センターの設立は、熟練した労働力と、ヘルスケアからITイノベーションに至る尊敬される専門的サービスと相まって、国のダイナミックなビジネス風景を象徴しています。

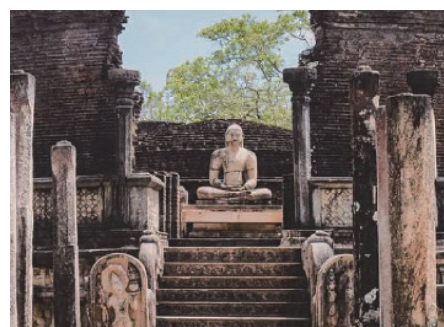
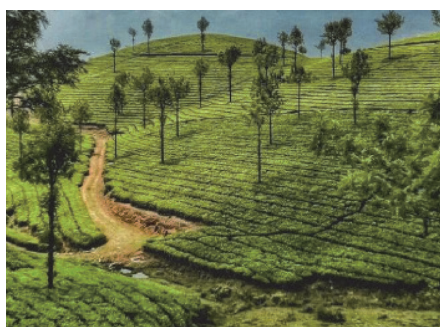
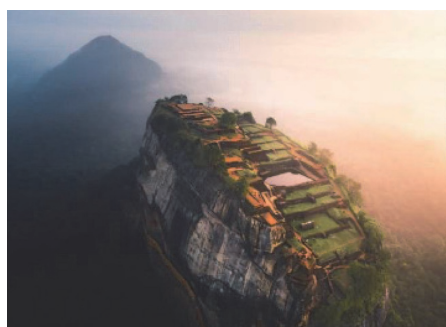
第21回 アジア太平洋小売業者大会は、知的交流と商業交流の合流点となるようデザインされており、著名な講演者や洞察に満ちたセッションが、皆様の知識とビジネス感覚を豊かにします。フォーラムだけでなく、豊富なネットワーキングや文化の饗宴もお楽しみください。第21回 アジア太平洋小売業者大会に皆様を心からお招きし、魅力があふれ、ビジネスが盛んなこの島で皆様をお迎えできることを楽しみにしております。



FAPRA 副会長  
スリランカ小売業協会 会長  
Murali Prakash



開催期間	2024年9月4日(水)～6日(金)
会場	バンダラナイケ記念国際会議場 (BMICH) ※ウェルカムディナーとガラディナーはシャングリ・ラ・コロンボにて開催される予定です。
主催	アジア太平洋小売業協会連合会 (Federation of Asia-Pacific Retailers Associations/FAPRA) スリランカ小売業協会 (Sri Lanka Retailers Association/SLRA)
テーマ	アジア太平洋地域における小売業の再定義： トランザクションからトランスフォーメーションへ (Redefining Retail in APAC : From Transactions to Transformation)
参加予定者	日本を含むFAPRA加盟の18か国・地域 ※プログラムには、世界各国から流通関係者など多数の視聴者が参加する予定です。
公用語	英語 (主な会議には、日本語、英語、中国語、韓国語の同時通訳が用意される予定です。)
展示会	スリランカ企業50社以内で展示ブースが設けられる予定です。
日本事務局	日本小売業協会 ☎03-6758-1771
協賛 (五十音順)	味の素株式会社 ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラム (CGF) デロイトトーマツ コンサルティング合同会社 東芝テック株式会社 日清食品株式会社 日本マイクロソフト株式会社 富士通株式会社 フューチャーアーキテクト株式会社





## APRCE 2024



### EVENT

- 1 SHANGRI-LA HOTEL  
5.8km to BMICH
- 2 BMICH  
5.8km to Shangri-La



### HOTELS IN COLOMBO

- 3 KINGSBURY HOTEL  
5.9km to BMICH | 100m to Shangri-La
- 4 HILTON HOTEL  
5.8km to BMICH | 1.3km to Shangri-La
- 5 CINNAMON LAKESIDE HOTEL  
4.6km to BMICH | 2.1km to Shangri-La
- 6 TAJ SAMUDRA HOTEL  
4.7km to BMICH | 750m to Shangri-La
- 7 GALLE FACE HOTEL  
4.5km to BMICH | 950m to Shangri-La
- 8 CINNAMON GRAND HOTEL  
3.7km to BMICH | 1.5km to Shangri-La



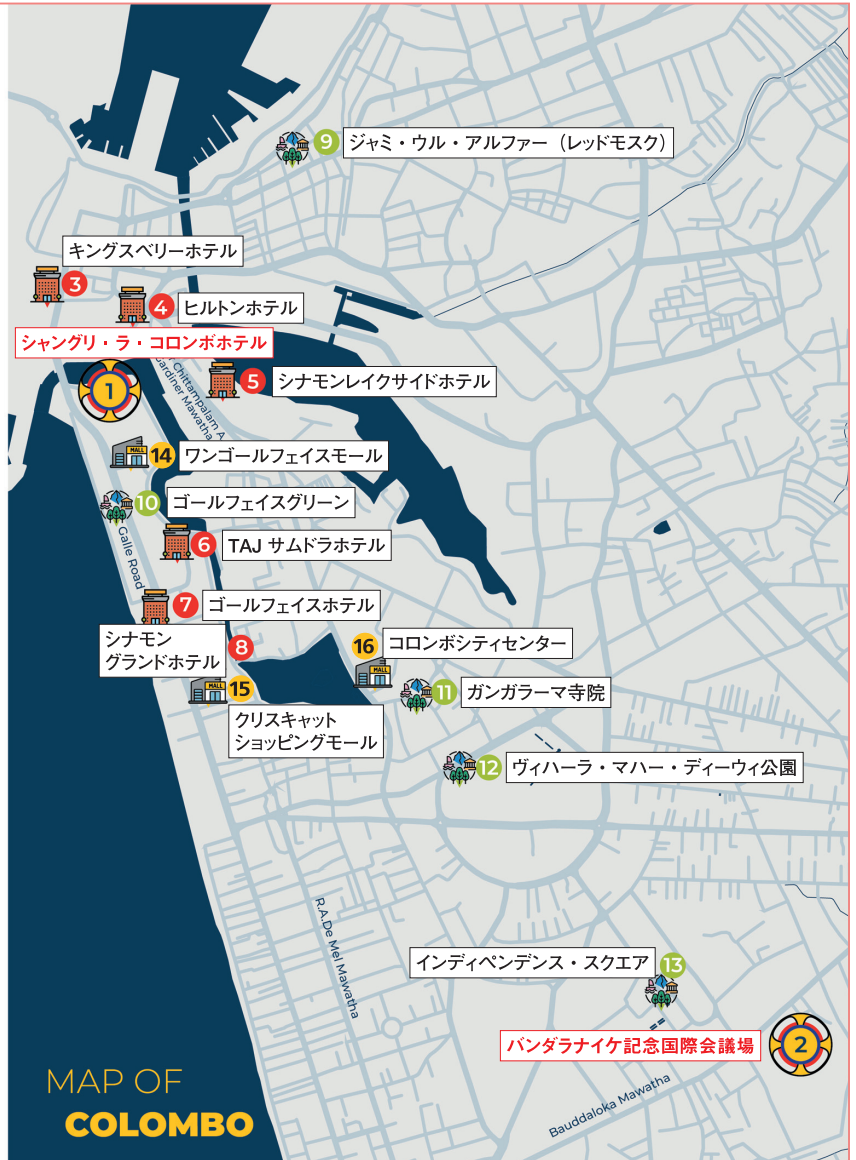
### ATTRACTIONS

- 9 JAMI UL-ALFAR (RED MOSQUE)  
6.5km to BMICH | 2.5km to Shangri-La
- 10 GALLE FACE GREEN  
4.8km to BMICH | 550m to Shangri-La
- 11 GANGARAMAYA TEMPLE  
3.1km to BMICH | 2.3km to Shangri-La
- 12 VIHARAMAHADEVI PARK  
2.4km to BMICH | 3.1km to Shangri-La
- 15 INDEPENDENCE SQUARE  
700m to BMICH | 4.6km to Shangri-La



### RETAIL MALLS

- 14 ONE GALLE FACE MALL  
5km to BMICH | 140m to Shangri-La
- 15 CRESCAT SHOPPING MALL  
3.9 km to BMICH | 1.5km to Shangri-La
- 16 COLOMBO CITY CENTER  
3.2km to BMICH | 2km to Shangri-La



## スリランカ 経済と小売業の現状

スリランカ政府は、2022年にデフォルト状態に陥りましたが、現在、経済危機を克服するために財政再建を進めています。具体的には、日本政府を含む17か国との債務再編基本合意を締結し、税制改革による財政健全化や国有企業改革などの取り組みを進め、経済的な持続可能性を追求しています。安定的、持続的な成長を実現するためにはGDPの約80%を占める民間消費の活性化や外貨獲得のための外需取り込みが不可欠となります。今後も国際的な協力を通じて経済的な安定を目指していくと思われます。また、スリランカ政府は、再生可能エネルギー分野をはじめ、南西アジアと中東・アフリカ地域を結ぶ物流拠点構築に関する分野、あるいは貴重な外貨獲得源である観光施設のインフラ整備への分野に対して外国からの投資を期待しています。

こうした中で、小売業は、同国の経済において重要な役割を果たしています。小売業の

総売上高は約310億ドルで、同国のGDPの約35%を占め、小売店舗数は28.3万店舗に上ります。小売部門は労働市場の14%を占め、110万人以上の労働者が雇用されています。



ワンゴールフェイス



コロンボシティセンター



## 9月4日(水) 大会初日スケジュール

スリランカ時間	本会議・イベント	会場：シャングリ・ラ・コロンボ
16:00～17:30	【FAPRA各国の小売業の現状（カントリーレポート）】 ※日本小売業協会 会長／東急(株) 代表取締役会長 野本弘文氏をはじめとする各国代表が講演を行う予定	
18:15～22:00	開会式・ウエルカムディナー	

## 9月5日(木) 大会2日目スケジュール

スリランカ時間	本会議、分科会、イベント	会場：バンダラナイケ記念国際会議場
9:00～ 9:15	展示会場オフィシャルオープニングセレモニー	
9:30～10:10	開会基調講演	
10:30～11:10	【会議1】 激動する世界経済とエコシステム：課題を克服し、チャンスをつかむ	
11:10～11:40	【会議2】 拡大する小売フロンティア：新興市場と地方進出	
11:40～12:10	【会議3】 トランザクションからトランスフォーメーションへ：進化する小売業を考察する	
12:10～13:45	休憩（昼食）	
13:45～14:15	【会議4】 テック・イノベーションによる小売体験の変革	
14:15～14:45	【会議5】 テクノロジーを取り入れた小売業のイノベーション：現代の消費者エンゲージメントに向けてデータ分析の力を活用する	
14:45～15:15	【会議6】 小売業における破壊的イノベーション	
15:15～15:45	休憩	
15:45～16:15	【会議7】 オムニチャネルの卓越性と統合：シームレスな小売体験を実現する	
16:15～16:45	【会議8】 消費者中心の小売業の変革：ショッピング体験と顧客親密度の向上 ※(株)セブン-イレブン・ジャパン 取締役 副社長 管理本部長 木村成樹氏	
16:45～17:30	【会議9】 未来の小売フォーマット：イノベーションと顧客接点を生み出す空間設計	
18:30～19:30	日本小売業協会・在スリランカ日本大使館・スリランカ日本商工会共催の日本人参加者対象レセプション (会場：在スリランカ日本大使公邸)	

## 9月6日(金) 大会3日目スケジュール

スリランカ時間	本会議、分科会、イベント	会場：バンダラナイケ記念国際会議場
8:45～ 9:15	【会議10】 アジア太平洋地域の小売業のグローバルアセント（海外展開）：潜在力の開放と市場優位性の再定義 ※イオン(株) 執行役 ベトナム担当 兼 イオンベトナム 取締役社長 古澤康之氏	
9:15～ 9:45	【会議11】 サプライチェーン・マネジメントの変化するダイナミクス：アジア太平洋地域の小売業の未来を創る	
9:45～10:15	【会議12】 サプライチェーンのレジリエンスと持続可能性：透明で効率的なテクノロジーでラストワンマイルの配送を変革する	
10:15～10:45	休憩	
10:45～11:15	【会議13】 企業戦略と経営（実例）	
11:15～11:45	【会議14】 企業戦略と経営（実例）	
11:45～12:15	【会議15】 企業戦略と経営（実例）	
12:15～13:30	休憩（昼食）	
13:30～14:15	【会議16】 小売業のトランスフォーメーションに向けた人材育成とリーダーシップ：人的要素の強化	
14:15～14:45	【会議17】 観光とのシナジー効果：リテールダイナミクスとの相互作用を考察する ※(株)大丸松坂屋百貨店 取締役 兼 常務執行役員／(一社)日本百貨店協会 インバウンド推進委員長 加藤俊樹氏	
14:45～15:15	【会議18】 金融との融合：銀行業と小売業の進化によるシナジー効果を探る	
15:15～15:45	休憩	
15:45～16:30	閉会基調講演	
18:30～22:30	FAPRA賞授与式・ガラディナー【次回の東京大会への引継式も開催】(会場：シャングリ・ラ・コロンボ)	

- 講演の日時、会場、講演者を含むプログラムは、変更になる可能性があります。また、各会議のスピーカーは、順次以下ホームページにてご案内してまいります。

コロンボ大会大会専用ホームページ（英語）：<https://www.aprce2024.com>

日本小売業協会ホームページ：<https://www.japan-retail.or.jp>

9月4日(水) スリランカ時間 16:00~17:30 の間に各国代表より講演が行われます。

## カントリーレポート

日本の小売業業界は、人口の減少、高齢化の進展といった構造的な変化とともに、消費者ニーズの多様化、EC市場の拡大による「リアルとネット」の融合、デジタル化に向けたキャッシュレス決済の導入、無人店舗化への対応、外国人観光客の増加など、様々な環境変化に対応してきました。日本では長らく続いたデフレ経済から脱却すべく、経済と賃金上昇の好循環を目指す政策が進められています。こうした中、ポストコロナで人流が回復したことを受け、日本経済は全体的に持ち直し、小売業界ではインバウンド需要に牽引され、国内消費は盛り上がりを見せています。一方で、物価高騰を背景とした店舗運営コストの上昇、価格転嫁の課題、人手不足と人件費高騰、更には物流2024年問題への対応などから、今年は、日本の小売・流通業界にとって、大きな節目の年と言えます。

9月5日(木) スリランカ時間 16:15~16:45

## 消費者中心の小売業の変革 ショッピング体験と顧客親密度の向上

セブン-イレブン・ジャパンは昨年、創業50周年を迎えました。お客様のニーズの変化に合わせて、常に新しい商品・サービスを提供し続けてきたその歴史は、まさに「変化への対応」の連続でした。将来を予測することが非常に難しい「VUCAの時代」と言われる昨今、より一層、お客様の潜在ニーズに目を向けて、新たな価値の創出に取り組んでいくことが必要です。

人口減少、少子高齢化が進み「課題先進国」と呼ばれる日本にあって、私たちは持続的な成長をめざして、経済的価値の提供はもちろんのこと、社会的価値を追求することにも取り組み始めています。今までの50年、そしてこれからの50年、「セブン-イレブン・ジャパンが今後どのような未来に向けて進んでいくのか」ということについて、お話しさせていただけたらと思います。

9月6日(金) スリランカ時間 8:45~9:15

## アジア太平洋地域における 小売業者のダイナミックな戦略とイノベーション

イオンは、純粋持株会社であるイオン株式会社およびお客さまの日々の暮らしをサポートする事業会社で構成される企業集団です。企業数は当社および約300社の連結子会社により構成され、GMS事業を核とした小売事業を中心として、総合金融、ディベロッパー、サービスなどの各事業を複合的に展開しています。日本・中国・ASEANの14か国において約18,000の店舗・事業所を展開し、連結営業収益は9兆5,000億円の規模を有し、成長を続けています。

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、商品・サービス・施設など事業活動に関わるすべてにおいて、お客さまの「安全・安心」を最優先しつつ、地域の暮らしに根差し、連携することで、共に成長・発展を目指し、様々な取り組みを実践してまいります。

9月6日(金) スリランカ時間 14:15~14:45

## 日本における観光と小売の体験価値のシナジー効果について

2023年の訪日客数は、2,500万人を超えコロナ前2019年の約8割強まで回復しました。この回復基調の相乗効果により、同年における百貨店の免税売上は、コロナ前の2019年を上回り、2024年は更に拡大しています。一方で、コロナ前と比較して、訪日観光客の国別シェア、日本国内における訪日エリア、購買カテゴリーと購買単価などには、様々な変化が見られます。この変化は、訪日観光客の日本に対する価値観の変化であり、この変化に対応する事は、観光と小売の相乗効果を更に発展させる大きな機会と捉えています。

我々のグループは、日本国内の北海道、本州、四国、九州に、大丸松坂屋百貨店を15店舗、パルコを16店舗展開しています。未来の訪日客に向けて、日本の観光と小売の魅力を、どの様に提供して体験価値を高めていくかについてお話ししたいと思います。

日本小売業協会 会長  
東急株式会社 代表取締役会長  
の も と ひろふみ  
**野本 弘文氏**

1971年4月 東京急行電鉄(株) 入社 (現 東急(株))  
2007年6月 同社 取締役  
2008年1月 同社 常務取締役  
〃 6月 同社 専務取締役  
2010年4月 同社 執行役員  
都市生活創造本部長  
〃 6月 同社 代表取締役 専務取締役  
2011年4月 同社 代表取締役社長  
2015年6月 同社 代表取締役社長 社長執行役員  
2018年4月 同社 代表取締役会長 (現任)  
2019年5月 日本小売業協会 会長 (現任)



株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
取締役 副社長 管理本部長  
きむら しげき  
**木村 成樹氏**

1986年3月 (株)セブン-イレブン・ジャパン 入社  
2013年5月 執行役員 会計管理本部 本部長  
兼 企業行動推進室 室長  
2016年5月 執行役員 秘書室 室長  
2019年3月 (株)セブン-イレブン・ジャパン 取締役  
2020年3月 (株)セブン-イレブン・ジャパン 取締役 専務執行役員 管理本部長  
2024年3月 (株)セブン-イレブン・ジャパン 取締役 執行役員 副社長 管理本部長



イオン株式会社  
執行役 ベトナム担当 兼 イオンベトナム取締役社長  
ふるさわ やすゆき  
**古澤 康之氏**

1995年4月 ジャスコ(株) (現イオン(株)) 入社  
2011年3月 同社 戦略部長  
2014年5月 北京イオン 社長  
2018年2月 まいばすけっと(株) 代表取締役社長  
2021年3月 イオンベトナム 取締役社長 (現任)  
2023年3月 執行役 ベトナム担当 兼 イオンベトナム 取締役社長 (現任)



株式会社 大丸松坂屋百貨店  
取締役 兼 常務執行役員  
かとう としき  
**加藤 俊樹氏**

1983年4月 (株)松坂屋 入社  
2011年1月 (株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋静岡店長  
2012年5月 同社 執行役員 営業本部 MD戦略推進室 ショップ運営第2統括部長 事務管掌  
2013年1月 同社 松坂屋名古屋店長 兼 本社松坂屋名古屋店プロジェクト推進室長 事務管掌  
同社取締役兼常務執行役員 (現任)  
2017年5月 営業本部長 兼 MD企画・新規事業開発室長 兼 MD企画部長 事務管掌  
2017年6月 同社 営業本部長 事務管掌 (現任)



外務省/総務省/財務省/JNTO

	日本	スリランカ民主社会主義共和国	中華人民共和国	フィジー共和国	香港	インド	
加入団体	日本小売業協会	スリランカ小売業協会	中国商業聯合会	フィジー小売業協会	香港小売業協会	インド小売業協会	
							
	Japan Retailers Association	Sri Lanka Retailers Association	China General Chamber of Commerce	Fiji Retailers Association	Hong Kong Retail Management Association	Retailers Association of India	
面積	37万8,000km <sup>2</sup>	6万5,610km <sup>2</sup>	960万km <sup>2</sup>	1万8,270km <sup>2</sup>	1,114.4km <sup>2</sup>	328万7,263km <sup>2</sup>	
人口	1億2,477万人▲	2,218万人	14億1,175万人	924,610人★	733万人	14億3,651万人▲	
首都	東京	スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ	北京市	スバ	—	デリー	
実質GDP成長率	1.0%	△7.8%	3.0%	△5.1%★	△3.5%	7.2%	
名目GDP総額	4,232.2十億ドル	77.1十億ドル	18,100十億ドル	42.96億ドル★	3,691億ドル★	33,851億ドル	
一人当たりの名目GDP	42,440ドル (GNI)	3,362ドル	12,814ドル	4,500ドル (GNI)★	49,226ドル	2,379ドル	
輸出入額	輸出	7,191億ドル▲	131億ドル	35,936億ドル	750.2百万ドル★	6,828億ドル	405,059百万ドル
	対日本	—	262百万ドル	1,899億ドル	28億円★	1,094百万ドル	5,710百万ドル
	輸入	7,873億ドル▲	183億ドル	27,160億ドル	2,211.4百万ドル★	6,381億ドル	656,132百万ドル
	対日本	—	383百万ドル	1,456億ドル	54.4億円★	35,407百万ドル	15,739百万ドル
日本企業の投資案件と投資額	—	—	—	—	1,388社 1,395億円	— 6,412億円	
日本企業の進出企業数	—	107社★	3万1,047社★	24社★	552社▲	1,400社 (4,901拠点)	
日本への渡航者数	—	36,742人▲	2,425,000人▲	1,381人▲	2,114,400人▲	166,300人▲	
データ参照元	外務省/総務省/財務省	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	

	フィリピン共和国	シンガポール共和国	チャイニーズタイペイ	タイ王国	ベトナム社会主義共和国	
加入団体	フィリピン小売業協会	シンガポール小売業協会	チャイニーズタイペイ小売業協会	タイ小売業協会	ベトナム小売業協会	
						
	Philippine Retailers Association	Singapore Retailers Association	Retailers Association of Chinese Taipei	Thai Retailers Association	Association of Vietnam Retailers	
面積	30万km <sup>2</sup>	734.4km <sup>2</sup>	3万6,197km <sup>2</sup>	51万3,115km <sup>2</sup>	33万1,346km <sup>2</sup>	
人口	1億903万人◇	592万人▲	2,326万人	6,609万人	9,946万人	
首都	マニラ首都圏	シンガポール	—	バンコク	ハノイ	
実質GDP成長率	7.6%	3.6%	2.4%	2.6%	8.0%	
名目GDP総額	393.6十億ドル★	643.5十億シンガポールドル	762.6十億ドル	495.2十億ドル	413.8十億ドル	
一人当たりの名目GDP	3,623ドル	82,808ドル	32,643ドル	7,651ドル	4,087ドル	
輸出入額	輸出	746.5億ドル★	710十億シンガポールドル	4,794億ドル	2,871億ドル	3,719億ドル
	対日本	10,848百万ドル★	9,845百万ドル	33,610百万ドル	26,659百万ドル	26,352百万ドル
	輸入	1,178.8億ドル★	655.4十億シンガポールドル	4,280億ドル	3,032億ドル	3,607億ドル
	対日本	11,087百万ドル★	22,340百万ドル	54,627百万ドル	32,482百万ドル	18,611百万ドル
日本企業の投資案件と投資額	—	—	218件 16億9,941万ドル	216件 499.6億パーツ	406件 47.9億ドル	
日本企業の進出企業数	1,434社	790社	490社▲	1,651社▲	1,990社▲	
日本への渡航者数	622,300人▲	591,300人▲	4,202,400人▲	995,500人▲	573,900人▲	
データ参照元	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	



# PRA) 加盟団体と各国・地域基礎データ

インドネシア共和国	大韓民国	キルギス共和国	マレーシア	モンゴル国	ミャンマー連邦共和国	ニュージーランド
インドネシア小売業協会	韓国小売業協会	キルギスタン商工会議所	マレーシア小売業協会	モンゴル商工会議所	ミャンマー小売業協会	ニュージーランド小売業協会
						
Indonesian Retail Merchants Association	Korea Retailers Association	Chamber of Commerce and Industry of the Kyrgyz Republic	Malaysia Retailers Association	Mongolian National Chamber of Commerce & Industry	Myanmar Retailers Association	Retail New Zealand
191万6,907km <sup>2</sup>	10万444km <sup>2</sup>	19万8,500km <sup>2</sup>	33万411km <sup>2</sup>	156万4,100km <sup>2</sup>	67万6,578km <sup>2</sup>	27万534km <sup>2</sup>
2億7,870万人 ▲	5,156万人 ▲	670万人 ▲	3,301万人	345万人	5,797万人 ▲	520万人 ▲
ジャカルタ	ソウル	ビシュケク	クアラルンプール	ウランバートル	ネーピードー	ウェリントン
5.3%	2.6%	7%	8.7%	4.7%	2.0%	5.63% ★
1,058.4十億ドル ◇	1,664.3十億ドル	110.5億ドル	373十億ドル ★	16.8十億ドル	59.5十億ドル	247.7十億ドル ★
4,784ドル	32,250ドル	1,626ドル	12,364ドル	5,038ドル	1,053ドル	48,424ドル ★
2,315.4億ドル ★	6,836億ドル	21.87億ドル	15,517.3億リンギ	125.4億ドル	155億ドル	39,574百万ドル ★
19,582百万ドル ★	30,606百万ドル	2.29億円	34,328億円	47.3億円	9.7億ドル	2,256百万ドル ★
1,961.1億ドル ★	7,314億ドル	96.29億ドル	12,966.3億リンギ	87.0億ドル	149億ドル	44,525百万ドル ★
13,310百万ドル ★	54,712百万ドル	48.08億円	21,663億円	640.7億円	2.9億ドル	2,839百万ドル ★
4,220件 35億6,279万ドル	176件 15億2,900万ドル	—	35件 9,185百万リンギ	— 9億6,319万ドル	126件 ▲ 18億6,565万ドル ▲	—
2,103社	338社 ▲	—	1,602社	172社	369社 ▲	220社
429,400人 ▲	6,958,500人 ▲	2,909人 ▲	415,700人 ▲	39,916人 ▲	45,815人 ▲	78,978人 ▲
ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	外務省/JNTO	ジェトロ/外務省/JNTO	ジェトロ/JNTO

※ [日本小売業協会] と第21回大会主催団体の [スリランカ小売業協会] 以外の加盟団体は、それぞれの国・地域の英文表記のアルファベット順にて掲載しています。  
 ※ データは2022年のデータが基本ですが、2020年には「◇」、2021年は「★」、2023年は「▲」のマークがついています。

## 過去のアジア太平洋小売業者大会ヒストリー

	会 期	参 加 国	参 加 者	テ ー マ
第1回 東京大会	1983年4月26日～29日	11ヶ国・地域	596名 (内、日本262名)	流通業の未来戦略 IN ASIA
第2回 ソウル大会	1985年10月15日～18日	11ヶ国・地域	517名 (内、日本249名)	アジア小売業を取り巻く環境の変化とそれに対応する戦略
第3回 香港大会	1987年9月8日～10日	11ヶ国・地域	541名 (内、日本335名)	アジア小売業のダイナミクス
第4回 シンガポール大会	1989年9月19日～22日	11ヶ国・地域	1,097名 (内、日本616名)	1990年代におけるアジア小売業の新たな広がりと躍進
第5回 バンコク大会	1991年11月5日～9日	11ヶ国・地域	1,257名 (内、日本574名)	変動する世界の中のアジア小売業
第6回 マニラ大会	1993年10月5日～8日	12ヶ国・地域	1,295名 (内、日本275名)	21世紀に向けての小売業の飛躍
第7回 クアラルンプール大会	1995年9月19日～21日	12ヶ国・地域	1,757名 (内、日本750名)	流通業の未来と2020年のビジョン
第8回 アデレード大会	1997年10月28日～31日	14ヶ国・地域	1,322名 (内、日本633名)	新時代に向けての小売業の挑戦
第9回 台北大会	1999年9月7日～9日	14ヶ国・地域	1,698名 (内、日本633名)	21世紀に向けての小売業の挑戦
第10回 ジャカルタ大会	2001年9月4日～6日	14ヶ国・地域	1,115名 (内、日本621名)	変貌するグローバル市場における小売業の対応
第11回 クライストチャーチ大会	2003年9月23日～25日	14ヶ国・地域	1,390名 (内、日本608名)	リフレッシュ
第12回 北京大会	2005年9月6日～10日	17ヶ国・地域	2,690名 (内、日本997名)	革新と協力
第13回 東京大会	2007年10月10日～12日	15ヶ国・地域	3,156名 (内、日本1,914名)	先進、そして調和
第14回 ソウル大会	2009年10月14日～16日	16ヶ国・地域	3,403名 (内、日本511名)	Retail for the Future of Life & Economy
第15回 シンガポール大会	2011年10月10日～13日	17ヶ国・地域	1,900名 (内、日本623名)	Discover Differentiate Deliver !
第16回 イスタンブール大会	2013年9月23日～25日	17ヶ国・地域	2,164名 (内、日本620名)	The New World, The New Retail, The New Consumer
第17回 マニラ大会	2015年10月28日～30日	17ヶ国・地域	1,800名 (内、日本500名)	急伸するアジア
第18回 クアラルンプール大会	2017年10月25日～27日	19ヶ国・地域	2,000名 (内、日本452名)	変革と創造、その先に
第19回 重慶大会	2019年9月5日～7日	20ヶ国・地域	3,900名 (内、日本480名)	新しい小売、新しい消費、新しい潮流 ～連携と共有
第20回 ジャカルタ大会	2022年11月28日～30日	20ヶ国・地域	1,100名 (内、日本296名)	強い小売、強い経済 (Strong Retail, Strong Economy)



## 1 大会参加登録料（含む大会関係諸費用）

	早期申込特別価格 【5月31日（金）までにお申し込みの場合】	通常登録 【6月1日（土）以降にお申し込みの場合】
参加者	98,000円	113,000円
同伴者	68,000円	73,000円

※海外での登録料に消費税は賦課されません。

※同伴者登録の方は、セッションには参加できません。登録料に含まれているのは、パーティ（3回）と昼食（2回）、展示会場への入場となります。

## 2 お申し込み方法

### ① 旅行会社主催のツアーでご参加の方

09頁下のツアー取扱旅行会社に直接お問い合わせください。各ツアーの参加申込書が大会参加登録申込書を兼ねております。また、大会参加登録料の支払いについては、旅行会社が代行して申し受けます。詳細は各旅行会社のパンフレットをご参照ください。

### ② 個人（旅行会社主催のツアー以外）でご参加の方

お申し込みは日本小売業協会WEBサイトから行ってください。下記のURLあるいはQRコードにアクセスをし、申込フォームにご記入をお願いします。 [https://japan-retail.or.jp/jra\\_activities/24\\_asia\\_colombo/](https://japan-retail.or.jp/jra_activities/24_asia_colombo/)



●お申し込み後、受付完了メールが送付され、別途、請求書（PDF）をお送りいたします。請求書に記載された銀行口座での着金確認をもってお申し込み完了とさせていただきます。

●主催者（スリランカ小売業協会）の事情により、講師等のプログラムが変更になる場合がございます。その場合でも参加登録料の返金はいたしません。

## 3 申込締切日

**2024年8月23日（金）**

●締切日以降のお申し込みについては事務局までお問い合わせ下さい。

〈個人情報の取扱について〉

お申込みにあたりご入力いただいた個人情報につきましては、本大会の申込受付および運営上の管理のために利用させていただきます。また、日本小売業協会が主催する各種事業のご案内に利用させていただく場合がございます。予めご了承ください。

## 4 キャンセル条項

6月1日（土）以降に、通常登録にてお申し込みいただき、8月23日（金）以前にキャンセルなされた場合、下記のとおりキャンセル料を申し受けます。

	2024年8月23日（金）以前にキャンセルした場合	2024年8月24日（土）以降にキャンセルした場合
参加者	57,000円（50%返金）	返金なし
同伴者	38,000円（50%返金）	返金なし

※早期登録の方のキャンセルにつきましては、登録料の払い戻しは出来ませんのでご承知下さい（登録者名の変更も出来ません）。

※通常登録の方（6月1日（土）以降のお申し込み）のキャンセルの場合は、同一会社・団体の、他の参加者と変更が可能です。

※上記キャンセル日は、日本小売業協会に文書での連絡が到着した日とさせていただきます。

【お問い合わせ先】 日本小売業協会 ☎ 03-6758-1771

ホームページ： <https://www.japan-retail.or.jp/>

シンハラ語で「聖なる光り輝く島」を意味するスリランカは、南アジアのインド亜大陸の南東に位置する共和制国家であり、インド洋の真珠とも称されます。美しい自然景観、古代遺跡、ビーチリゾートに加え、仏教の聖地としても知られる、歴史豊かな国です。

古代都市シーギリヤを含む8つの世界遺産、サファリが有名な国立公園・自然公園、セイロン・ティーの産地巡りや、アーユルベーダなど、様々な魅力にあふれるスリランカは親日国としても知られており、一度は訪れてみたいという方も多い国です。

今回、第21回アジア太平洋小売業者大会が開催されるコロンボは、スリランカ最大の都市で、植民地時代の名残を残すコロニアルな街並みが魅力です。経済の中心でもあり、かつては首都でした。

コロンボの特徴は、何といても歴史的建造物と現代的な活気あふれる街並みが融合していることです。イギリス統治時代の面影が残る洗練された美しい建物や旧跡と、南アジア特有の雑然とした雰囲気絶妙に融合しています。コロンボには、化学工業、繊維産業、ガラス工業、皮革製品、家具、宝石など、スリランカを代表する企業の本部があり、経済活動が盛んです。一方で、ベイラ湖、ゴールフェイスグリーンなど、美しい湖や公園があり、観光スポットとしては、スリランカ最大の仏教寺院であるガンガラーマ寺院、スリランカの歴史や文化について学ぶことができるコロンボ国立博物館、スリランカが世界に誇る建築家ジェフリー・パワの旧宅などが有名です。

商業施設としては、次のモールが注目を集めています。

## 1. ハブロック・シティ・モール (Havelock City Mall)

- 所在地：324-10 Havelock Road, Colombo 05
- オープン日：2023年10月
- 特徴：1万8,600㎡の大型ショッピングモールです。「My Happy Place (私の幸せな場所)」を掲げ、家族みんなで楽しめるモールを目指しています。百貨店、スーパー、専門店、シネマ、クライミングウォールなどのエンターテインメント施設などがあります。

## 2. ワンゴールフェイスモール (One Galle Face Mall)

- 所在地：5 1A, Centre Road, Galle Face, Colombo 02
- オープン日：2019年11月
- 特徴：アクセスが非常によく、シャングリラホテルに隣接しています。7階建てで、世界的ブランドやローカルブランドショップ、エンターテインメント施設、レストラン、フードコートが集結しています。

## 3. コロンボシティセンター (Colombo City Center)

- 所在地：137, Sir James Pieris, Mawatha, Colombo 02
- オープン日：2018年9月
- 特徴：高層マンションの下にモールがあり、都会的で洗練された雰囲気があります。開放的なフードコートがあり、世界中の食文化を詰め込んだような店舗構成になっています。

## 4. マリーノモール (Marino Mall)

- 所在地：90, Galle Road, Colombo 03,
- オープン日：2018年7月
- 特徴：店舗数はそれほど多くありませんが、きれいなインド洋（特に夕方のサンセット）を眺めることができるテラス席のあるお店が有名です。VRを体験できるゲームセンターもあります。

■イオンコンパス株式会社	海外営業部	担当者：杉本、鈴木
〒261-7105 千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBGイースト5階		
担当者メールアドレス：sugimoto-yoshih@aeonpeople.biz TEL：043-299-9067 FAX：043-272-6550		
■株式会社ジェイワールドトラベル	営業2部	担当者：平川 泰之
〒107-0061 東京都港区北青山3-2-5 NH青山ビル8階		
担当者メールアドレス：hirakawa@jw-trvl.co.jp TEL：03-3402-9955 FAX：03-3402-9698		
■株式会社セブンカルチャーネットワーク	旅行企画部 営業担当	担当者：遠山 真一
〒102-0084 東京都千代田区二番町8番地8		
担当者メールアドレス：s1-toyama@7cn.7andi.co.jp TEL：03-6238-3083 FAX：03-6238-6994		
■東武トップツアーズ株式会社	東京法人西事業部 第2営業部	担当者：今泉、菅沼
〒102-0075 東京都千代田区三番町5-7 泉館文人通り4階		
担当者メールアドレス：takahisa_imaizumi@tobutoptours.co.jp TEL：050-9001-9814 FAX：03-5212-7096		
■プリマツアーズ株式会社	東京営業所	担当者：田中
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館7階		
担当者メールアドレス：tanaka@primatours.co.jp TEL：03-3519-7881 FAX：03-3519-7882		

# FUJITSU

未来はいつも、  
誰かの想いから  
はじまる。



世界に、未来への確信を届けたい。  
社会課題を解決する「Fujitsu Uvance」から。

これまで以上に、世界は複雑に絡みあっている。  
ある場所で起こる現象が、人々の行動が、  
遠く離れた暮らしにさえ影響を与えてしまう。  
人類が出会ったことのない時代に、私たちは立っている。

社会課題にこそ、国境なんてない。  
だからこそ、私たちの「想いを巡らす力」が試されている。  
課題の本質をつかみとるために、社会に、  
そこで暮らす人々に、どれだけ想いを巡らせていけるか。

いま、富士通は、新しい挑戦をはじめています。  
それが、Fujitsu Uvance(ユーバンス)。その名には、  
あらゆる(Universal)ものをサステナブルな方向に  
前進(Advance)させる決意を込めています。  
蓄積してきたノウハウ、革新的なテクノロジー、  
そして、さまざまな分野のパートナーと手を取りあい  
複雑化する社会課題を解決していく。

地球環境について、私たち一人ひとりが想いを巡らせていくこと。  
それが、未来のはじまり。富士通はそう信じています。  
そう。世界はいつも、誰かの想いが変えてきたのですから。

Fujitsu Uvanceの取り組みについてはコチラ



# Fujitsu Uvance



***Better Lives Through Better Business***

THE ONLY ORGANISATION THAT IS CEO-LED  
AND BRINGS CONSUMER GOODS RETAILERS  
AND MANUFACTURERS TOGETHER GLOBALLY.

**CONNECT WITH  
THE CONSUMER  
GOODS FORUM**

**The Consumer Goods Forum  
Japan & Asia-Pacific Office**

Email us! [tokyo@theconsumergoodsforum.com](mailto:tokyo@theconsumergoodsforum.com)

*Let's Talk About Positive  
Change in Business!*



想像を超える。創造で応える。

経営とITをデザインする

**FUTURE**  
**ARCHITECT**

**TEC**  
WILL makes Value

スマホで  
スイスイ

パーソナルチェックアウトで  
もっと快適に、  
もっと楽しく。



カートで  
ワクワク

スマホで、カートで、お客様自身で商品登録ができる。  
ピピットセルフが、快適で楽しい  
パーソナルチェックアウトを実現いたします。

**ELERA**  
売場移動型セルフレジシステム  
**ピピットセルフ**

**TOSHIBA** 東芝テック株式会社  
<https://www.toshibatec.co.jp/>

DX戦略部 販売促進担当  
〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー

資料をご希望の方は  
ホームページよりお申し込みください

東芝テック

検索

●ホームページ右上の「お問い合わせ」から入力  
フォームに必要事項をご入力ください。その際、  
「件名」に商品名をご入力ください。

●弊社は、お客様の個人情報（氏名・住所・電話番号）を、  
カタログやDMの送付等に利用させていただく以外の  
用途には利用せず、適切に管理させていただきます。

おいしいの その先へ。



# どうせ食べるなら 完全メシ

詳しくはコチラ



食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。